



日本画・洋画 二人展

海老原俊雄、岡田一夫

賛助出品 神田 亮

会期／2018(平成30)年5月24日(木)～5月27日(日)
午前10時～午後5時(最終日4時)

ピュアな二人を推す

群炎美術協会創立委員・元会長

神田 亮

海老原 俊雄 —素手で 美^{ミユース}神を掴んだ人—

彼は日展の日本画に出品しているのが、日本画家と呼んでいる。不動岡絵画クラブでは、殆どが油えのぐで人物を描いているのに、筆洗いに水を汲んできて、画面を平らにしてコツコツと音をたてて描いている。その画材は、クレヨン、ガッシュ、顔彩、岩えのぐ、金箔・・・その技法は没骨、たらし込み、霧吹き、水洗い、カラージュ・・・こうして描き上げてゆく作品の前に立つとき、私は、ふと、室町期の幽玄な肖像画にふれた思いをすることがある。彼の創作技法は独自のものです、日展のギャラリートークに招いた審査委員を驚愕させてといわれている。私は、彼の手によって、新しい日本画が生まれつつあると思っています。

会場／パストラル加須
(展示室)

TEL. 0480(62) 1221



お祝い等は、遠慮申し上げます。